

「きぼう」有償利用事業の推進方策について

平成21年3月4日

宇宙航空研究開発機構

有人宇宙環境利用ミッション本部

(説明者:事業推進部長 山浦 雄一)

「きぼう」有償利用の目的・経緯

1. 「きぼう」有償利用の目的

- 「きぼう」有償利用制度は、利用者が一定の費用を負担することにより主体的に「きぼう」を利用し、その成果を占有できる制度。
- 民間等の多様な利用ニーズに対応し、「きぼう」の潜在的な価値を最大限に活用し、利用の拡大・多様化を図る。

2. 経緯等

- JAXAは、これまで2回の有償利用テーマを募集し、有償利用事業を試行し、その仕組みを検証するとともに、利用ニーズの把握を行った。
 - 第1回募集：平成19年11月、応募：5件 採用：3件（契約済）
 - 第2回募集：平成20年7月、応募：10件 選定：3件（現在契約調整中）
- これらの実施により、多様な利用ニーズに対応し利用を更に拡大していくために、次の課題が明らかとなった。
 - 利用リソース金額の提示が必要。（第2回募集で価格提案の最低単価を提示。）
 - 一般の利用者が単独で利用テーマの企画・実現を図るのは困難。この分野の経験・能力を有する企業等が利用者支援を行うことが不可欠。
 - 利用者は、利用リソース確保が確約されないと、利用計画の本格的な検討に着手することが困難。
 - 研究・実験利用のためには、準備のための十分な時間が必要。

「きぼう」有償利用の今後の進め方

3. 今後の進め方

➤ 今後、以下の様な方策により、JAXAは、より質の高い「きぼう」有償利用事業を推進していく。(参考1)

(1) 多様な利用ニーズに対応し、利用を更に拡大していく方策として、有償利用事業を民間に移管*。

- 潜在的な利用者に対するきめ細かな対応
- 民間の創意工夫による柔軟・迅速な利用サービスの提供

*JAXAは、「きぼう」有償利用事業を行う民間企業等を募集し審査を行い、利用者を支援できる技術的能力等、基準を満たす者に「事業者」として資格を付与(複数を想定)。

(2) JAXAは、事業者へ利用リソースを定価で提供*。

- JAXAは、利用リソースの予約受付開始を早期に設定(最大30ヶ月前)し、先着順で利用リソースを提供。
- 事業者は、「きぼう」利用リソースを購入し、利用者に「きぼう」利用サービスを提供。

*有償利用への利用リソースの配分にあたっては全体の利用計画とのバランスを考慮。

「きぼう」有償利用に関する今後のスケジュール

4. スケジュール

(1)意見招請(平成21年3月6日(金)～4月6日(月))

- 事業者になることに関心を有する民間企業等及び「きぼう」利用サービスを受けたい利用者等を対象に、以下に関する意見招請を実施。
 - 有償利用事業に関するニーズ
 - 提供サービス内容
 - 契約条件の妥当性など
- 意見招請の結果を踏まえ、要すれば募集要領等の見直しを行う。

(2)事業者募集・資格審査等

① 最初の募集

- 事業者募集(平成21年4月22日(水)～5月18日(月))
- 事業者資格審査(平成21年5月下旬)
- 基本契約締結(平成21年6月1日(月)以降速やかに)
- 第1回利用リソース予約受付開始(平成21年6月10日(水)予定)

② 上記募集期間を過ぎての募集

- 平成21年7月1日(水)以降は、随時事業者応募を受付け。

參考資料

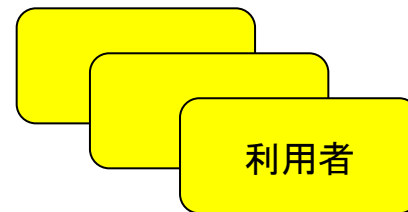
(参考1) 有償利用事業の民間への移管による推進

これまで

JAXA

利用テーマ募集

- ◆JAXAテーマ募集(約1年前)
- ◆価格提案によるテーマ選定



■民間企業(事業者)による新たな利用者開拓と利用サービス向上を促進

今後

利用リソースの提供

JAXA

- ◆30ヶ月前からリソース予約受付開始。先着順で利用リソースを提供。
- ◆利用リソースは定価で提供。

事業者

事業者

新たな利用者開拓

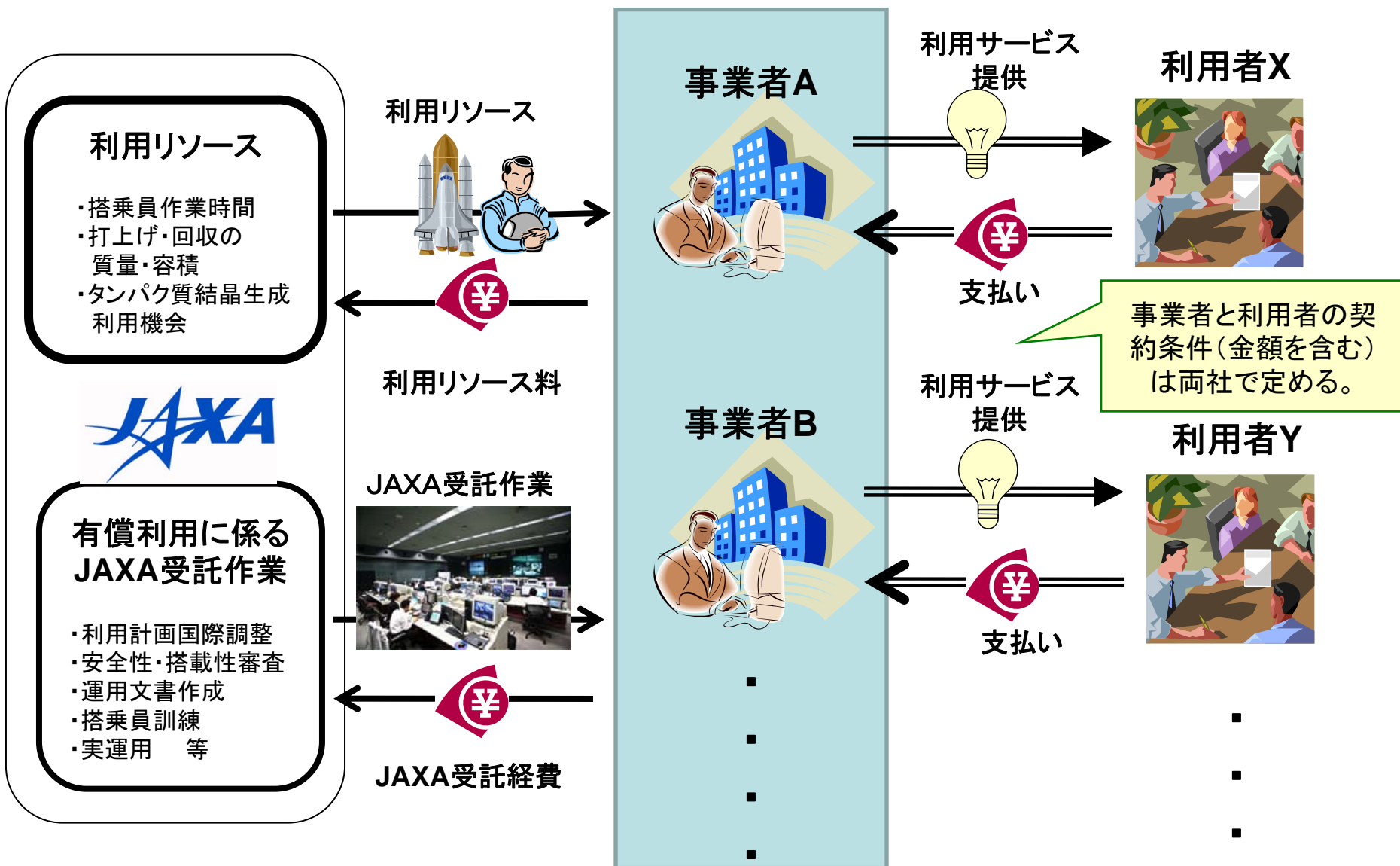
- ◆民間ネットワークを活用した市場・顧客開拓
- ◆潜在的な利用者に対するきめ細かな対応(具体的な利用サービス提案等)

利用サービス向上

- ◆多様なニーズに対応した利用者支援
- ◆民間の創意工夫による柔軟・迅速な利用サービスの提供



(参考2) 事業者による有償利用事業の枠組み



(参考3) 事業者からJAXAへの支払い

事業者からJAXAへの支払いの内訳は以下のとおり。

■利用リソース料

利用リソース料は、利用するリソースの種類・量に応じ下記により計算される。

$$\text{利用リソース料} = \text{リソース単価} \times \text{利用リソースの量}$$

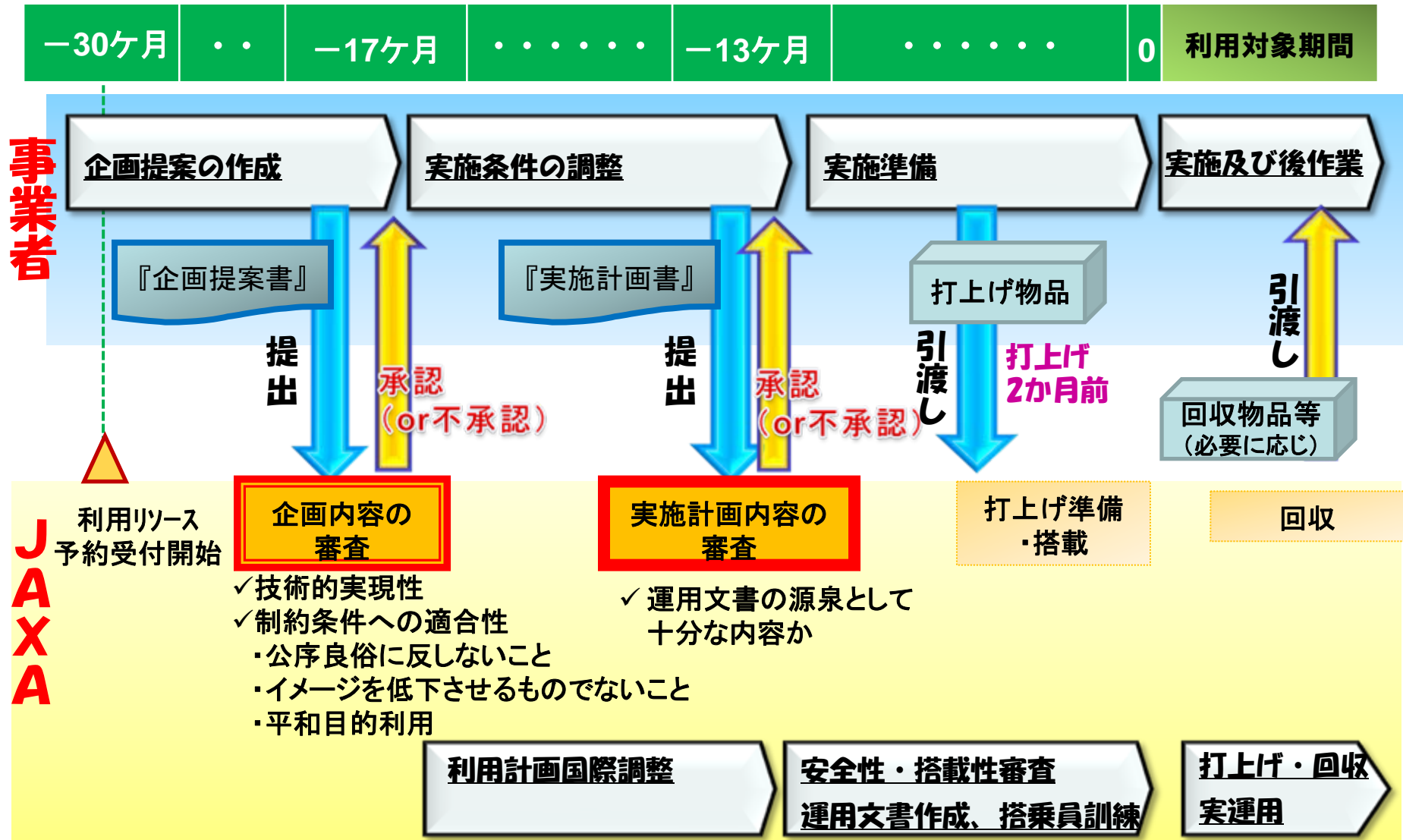
対象とする利用リソース※	リソース単価
搭乗員作業時間	550万円(1時間あたり)
打上げ重量	330万円(1kgあたり)
回収重量	550万円(1kgあたり)
タンパク質結晶生成利用機会	160万円(一式あたり)

※対象とする利用リソースの種類及びリソース単価は、今後の利用状況に応じて見直すこともある。
電力・通信・容積等の料金は当面設定しないが、利用計画に支障が出る場合は個別に調整を行う。

■JAXA受託経費

$$\text{JAXA受託経費} = \text{利用テーマ毎に必要なJAXA受託作業の実費}$$

(参考4) 利用実施までのプロセス



※上記は、搭乗員作業時間、打上げ重量、回収重量を利用するテーマの場合のプロセス。

(参考5) 事業者募集・契約枠組み

■事業者募集・資格審査

- JAXAは事業者を募集し、資格審査を行う。

応募資格

- ✓ 日本法令により設立された法人
- ✓ 官公庁共通の競争参加資格D等級以上を有していること

事業者求められる能力

- ✓ 顧客開拓
- ✓ 確実な業務管理(実施体制、情報セキュリティ管理等)
- ✓ 技術的能力(下記の業務を自ら実施可能、或いは実施する能力を有する専門業者を確保できること)
 - ・企画提案書の作成
 - ・搭乗員作業時間の見積り 等

■JAXA－事業者間の契約の枠組み

- 事業者とJAXAの間で「基本契約」を締結する。(契約期間は平成24年3月末まで。以降は、事業実施状況を踏まえて更新)
- 「基本契約」の下に、個々の利用テーマについて「個別契約」(利用リソース量やJAXA受託作業の内容等を定める)を締結する。

(参考6) 今後の予定

3月	4月	5月	6月
<p>←————→</p> <p>3/6 (金) 意見招請</p> <p>3/13 (金) ▲説明会</p>	<p>←————→</p> <p>4/6 (月) 4/22 (水) 事業者募集</p> <p>下旬 ▲説明会</p>	<p>←————→</p> <p>5/18 (月)</p> <p>————→</p> <p>資格審査</p>	<p>▲ 6/1 (月) ▲ 6/10 (水)</p> <p>以降 基本契約締結</p> <p>第1回利用リソース予約受付開始</p>